

2016年度第2四半期 決算説明会

イオンフィナンシャルサービス

連結業容及び業績

- 連結有効会員数は3,816万人、営業債権残高は4兆1,115億円と順調に拡大
- 国内個品割賦及びタイで貸倒引当金を将来予測基準で積み増し

業容	第1四半期		上期計	
	実績	期首比	実績	期首比
連結有効会員数	3,773万人	+51万人	3,816万人	+94万人
内、国内会員数	2,620万人	+32万人	2,644万人	+56万人
イオン銀行口座数	509万口座	+16万口座	525万口座	+32万口座
連結営業債権残高	4兆54億円	+1,478億円	4兆1,115億円	+2,538億円

連結業績	第1四半期		第2四半期		上期計		
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	公表差
経常収益	904億円	106%	905億円	103%	1,809億円	104%	△11億円
経常費用	767億円	105%	768億円	103%	1,535億円	104%	△5億円
経常利益	137億円	109%	136億円	103%	274億円	106%	△6億円
親会社株主に帰属する中間純利益	89億円	125%	80億円	116%	170億円	121%	+20億円
中間配当金	—		29円				

AEON Financial Service Co., Ltd.

2

エリア別業績

- 国内はマイナス金利の影響により、住宅ローン取扱高が拡大、普通預金残高が増加
- 海外は為替影響は計画通り推移。与信を厳格化し、物販債権へのシフトを推進

		2016年度					
		1Q		2Q		上期	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
経常収益	国内	626億円	114%	641億円	113%	1,267億円	113%
	構成比	69%	+4%	70%	+6%	69%	+5%
	海外	284億円	93%	273億円	86%	557億円	89%
	構成比	31%	△4%	30%	△6%	31%	△5%
経常利益	国内	87億円	127%	94億円	124%	182億円	125%
	構成比	61%	+6%	64%	+7%	62%	+6%
	海外	54億円	94%	48億円	86%	102億円	90%
	構成比	39%	△6%	36%	△7%	38%	△6%

※業績数値は連結消去前

AEON Financial Service Co., Ltd.

3

セグメント業績

(単位:億円)		第1四半期		第2四半期		上期計	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
クレジット事業	経常収益	396	106%	439	115%	836	111%
	経常利益	77	93%	95	113%	173	103%
	(経常利益率)	(19.6%)	(△2.7%)	(21.7%)	(△0.4%)	(20.7%)	(△1.5%)
銀行事業	経常収益	146	126%	122	119%	269	123%
	経常利益	16	775%	△6	—	10	+12
	(経常利益率)	(11.4%)	(+9.6%)	(—)	(—)	(—)	(—)
海外事業	経常収益	284	93%	273	86%	557	90%
	経常利益	54	95%	48	86%	102	90%
	(経常利益率)	(19.0%)	(+0.4%)	(17.9%)	(△0.0%)	(18.5%)	(+0.2%)
フィービジネス等	経常収益	130	112%	136	109%	267	110%
	経常利益	8	101%	10	101%	19	101%
	(経常利益率)	(6.6%)	(△0.7%)	(7.9%)	(△0.6%)	(7.2%)	(△0.7%)
調整額	経常収益	△53	—	△66	—	△120	—
	経常利益	△19	—	△12	—	△31	—
連結合計	経常収益	904	106%	905	103%	1,809	104%
	経常利益	137	109%	136	103%	274	106%
	(経常利益率)	(15.2%)	(+0.5%)	(15.1%)	(+0.0%)	(15.2%)	(+0.3%)

AEON Financial Service Co., Ltd.

4

連結貸借対照表



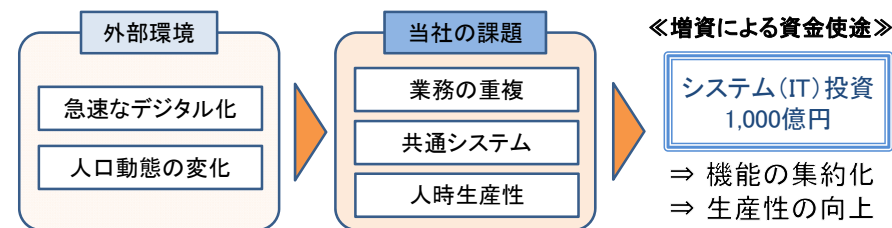
連結	実績	期首比	連結	実績	期首比
現金預け金	5,430億円	+982億円	預金	2兆3,602億円	+2,072億円
貸出金	1兆7,369億円	+629億円	有利子負債	7,373億円	△233億円
内、国内貸出金	1兆5,086億円	+729億円	内、国内有利子負債	3,748億円	△89億円
キャッシング+小口ローン	4,925億円	+251億円	内、海外有利子負債	3,624億円	△144億円
内、海外貸出金	2,333億円	△99億円	利息返還損失引当金	21億円	△20億円
割賦売掛金	1兆1,045億円	+821億円	買掛金等	1,535億円	△200億円
支払承諾見返	1,576億円	△158億円	支払承諾	1,576億円	△158億円
貸倒引当金	△501億円	△6億円	負債合計	3兆5,559億円	△1,512億円
有価証券等	4,372億円	△430億円	純資産合計	3,737億円	+324億円
資産合計	3兆9,293億円	+1,837億円	負債及び純資産合計	3兆9,293億円	+1,837億円
貸出金利鞘	7.3%	(※)△0.8%	自己資本比率 (国内基準)	8.3%	+0.9%

(※貸出金利鞘は前期比)

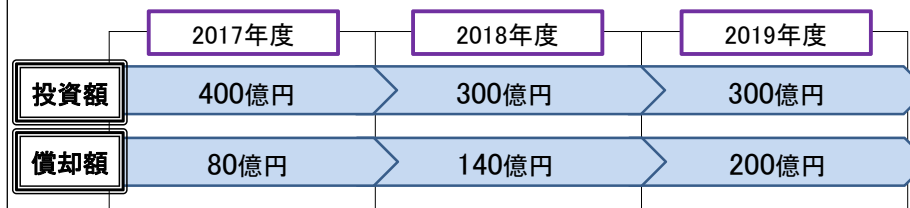
増資の目的



- 急速に進展するデジタル化への対応、生産性改善のためシステム投資を強化
- 資本控除を補い、さらなる成長を図るため、株式及び転換社債による調達を実施



【システム投資総額のスケジュール】



システム投資による人時生産性の向上

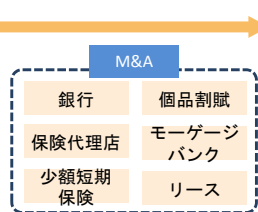


- 国内では、法改正等による利回りの低下をM&A等での業容拡大とコスト改善にて克服
- システム投資により生産性を高め、海外を中心にコストの改善に取り組む

【過去10年間における変化】

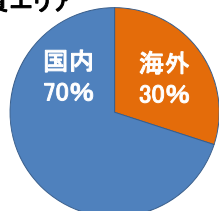
	2006年度		2015年度	
	国内	海外	国内	海外
営業債権残高	6,070	2,037	32,141	4,525
利回り	20%	30%	6%	25%
合計 (人件費・貸倒費用)	384 (121・263)	201 (60・141)	412 (283・129)	495 (182・312)
経常利益	317	93	353	240
	連結410		連結593	

(単位: 億円)



※人件費と貸倒費用は営業債権に対応する費用

投資エリア



主な投資先

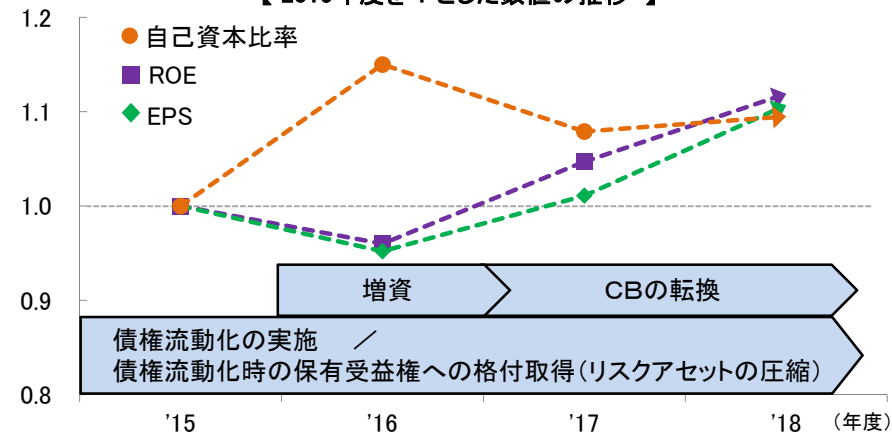
新技術の研究	AIや認証機能、ブロックチェーン技術等の実用化を図る
分析機能の強化	データ分析にAIを活用し、審査・債権管理、販促の精度を高める
システムの共通化	国内・海外が一体となり、サービス提供を行うための基盤整備

資本政策—自己資本比率



- リターンを重視した債権ポートフォリオの見直し等により、資本の生産性を向上
- 自己資本の増強及びリスクアセットの圧縮により、自己資本比率は8%程度を維持

【2015年度を1とした数値の推移】



債権流動化の実施
債権流動化時の保有受益権への格付取得(リスクアセットの圧縮)

営業債権と調達資金のデレージョン調整のため、債権流動化を実施

2016年度 連結業績予想



■ 増資により1株当たり当期純利益は171円56銭(期首:186円19銭)

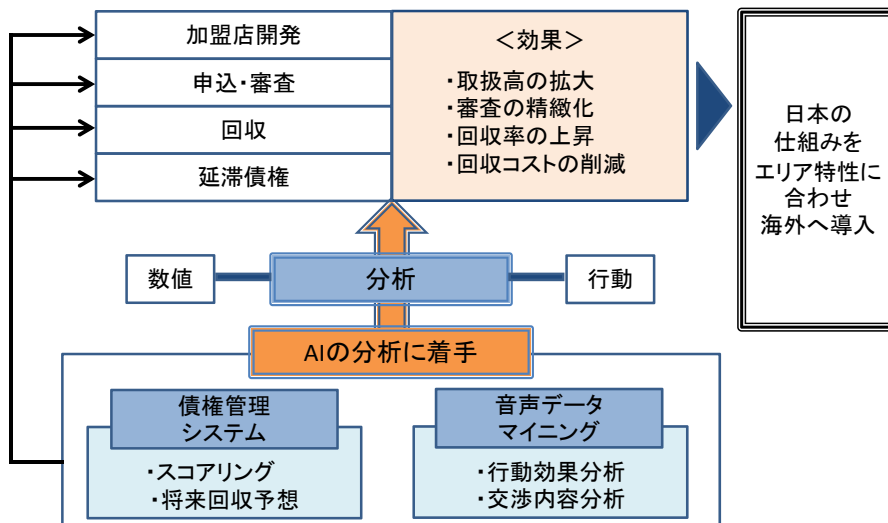
		業績予想		
		業績	前期比	
経常収益		3,800億円	106%	
経常利益		630億円	106%	
親会社株主に帰属する当期純利益		370億円	103%	
1株当たり当期純利益		171円56銭	95%	
	第2四半期末	期末	年間	配当性向
	実績 前期比	予想 前期比	予想 前期比	予想 前期比
配当予想	29円 +1円	39円 +1円	68円 +2円	39.6%+3.1%

2016年度 重点実施事項

一審査・回収業務の効率化一



- 債権管理業務の効率化と回収コストの改善、収益機会の拡大を図る
- 延滞分析結果を審査や回収などの分野にフィードバックし、審査を精緻化



一カードレス化に向けた取組み一



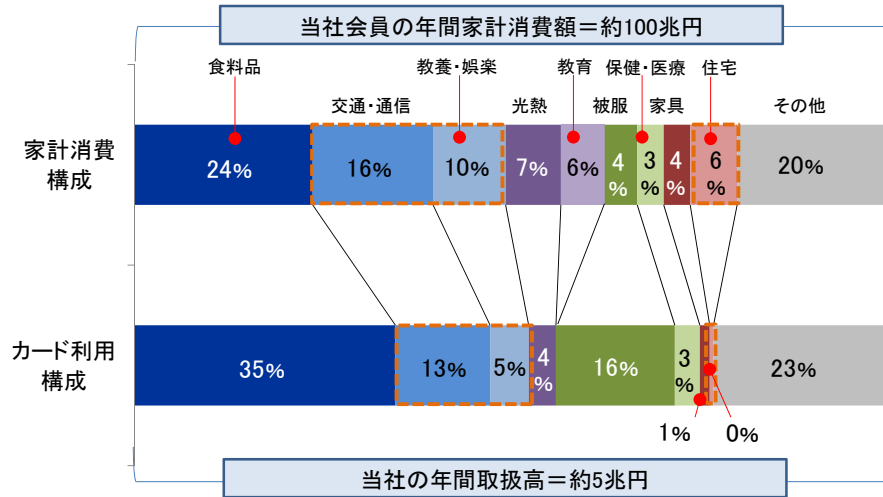
- 10月よりApple Payに対応し、決済サービスを開始
- スマートフォンアプリ(イオンウォレット)への決済機能追加、クレジットカードのバーチャル化
- 国内に加えてアジアでも展開し、国内外で共通のサービスを提供



キャッシュレス化・カードレス化を海外でも展開

カード取扱高拡大の取り組み

- 家計消費の変化に合わせたサービス・特典の強化、加盟店開発を推進
- 9月度より、家賃決済サービスを開始。家計消費に占める弊社サービスの利用を促進

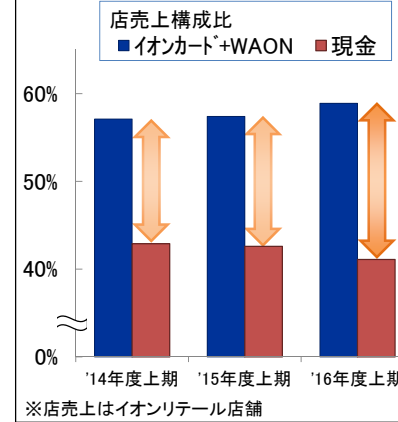


出典：総務省統計局 家計消費状況調査(2015年1～12月)

カードの利用促進

- 6月より、イオンカードのポイント特典を強化(イオングループ店舗での利用ポイント2倍)
- イオングループ売上シェアの拡大による稼働率の向上

キャッシュレス比率の拡大



稼働会員の状況



首都圏戦略

- イオングループ店舗でのカード会員募集の強化(タブレット端末を活用した委託募集)
- データベースを活用した販促、タッチポイント(ISB、ATM)の拡大



今後の方向性について



＜従来＞

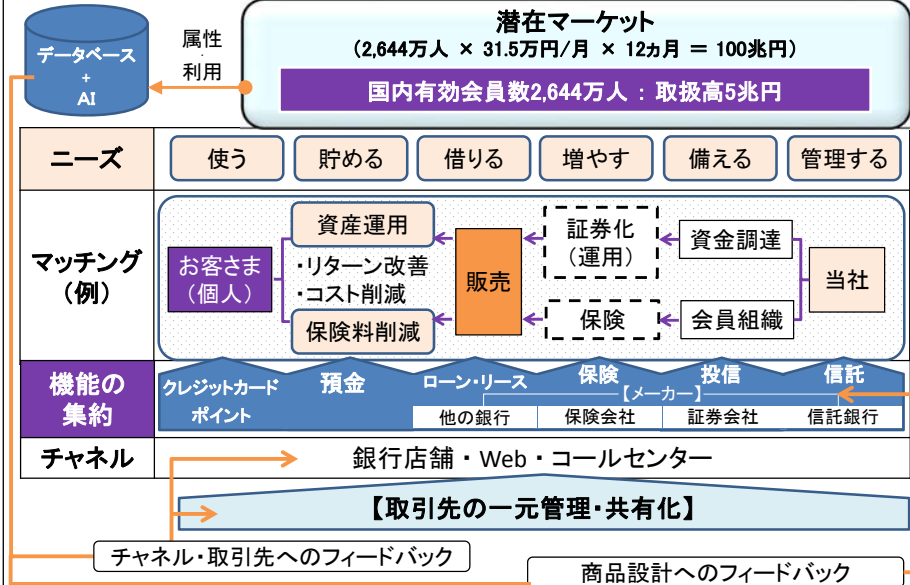
国内: 外部環境(法改正)に対応し、
取扱商品を拡充

海外: 個品割賦から開始、
ライセンスを取得しカード発行



＜未来＞

国内外: お客さまが自由に商品を選択



香港の取組み

香港の外部環境



- 中国の経済成長が鈍化、それに伴う香港経済の減速
- 中国からの来訪者数は減少、香港人のスーパー・日用品など生活関連支出は、底堅い

	2015年度上期	2016年度上期
中国のGDP成長率	+7.0%	+6.7%
香港のGDP成長率	+3.1%	+1.7%
香港の人口	730万人	734万人
香港への来訪者数(1-6月)	2,933万人	2,716万人
内、中国からの来訪者数	2,285万人	2,042万人
香港の小売売上高成長率	△1.6%	△10.5%
内、食品	+7.9%	+1.2%
内、スーパーマーケット	+1.1%	+1.0%
香港の失業率	3.2%	3.4%

2016年度の取組み



1. 貸倒関連費用の抑制及び営業債権の質的向上

2. デジタリゼーションの推進による生産性の改善

3. 利便性改善及び顧客満足度の向上

営業債権ポートフォリオ(ACSアジア連結)



■ 貸倒費用収益比 14年上期:25.5% ⇒ 15年上期:24.0% ⇒ 16年上期:23.1%

(単位:百万香港ドル)

		2014年度上期		2015年度上期		2016年度上期		営業債権 残高比	
		実績	営業債権 残高比	実績	前期比	実績	前期比		
クレジット カード	営業債権残高	3,501	—	3,508	100%	—	3,584	102%	—
	取扱高	3,321	—	3,584	108%	—	3,660	102%	—
	営業収益	401	11.5%	396	99%	11.3%	383	97%	10.7%
	貸倒費用	86	2.5%	77	90%	2.2%	75	97%	2.1%
パーソナル ローン	営業債権残高	1,815	—	1,740	96%	—	1,613	93%	—
	取扱高	692	—	759	110%	—	691	91%	—
	営業収益	186	10.2%	179	96%	10.3%	172	96%	10.7%
	貸倒費用	82	4.5%	82	100%	4.7%	73	89%	4.5%
ACSアジア 連結計 (※)	営業債権残高	5,316	—	5,248	99%	—	5,198	99%	—
	取扱高	4,097	—	4,397	107%	—	4,389	100%	—
	営業収益	659	12.4%	662	100%	12.6%	638	96%	12.3%
	貸倒費用	168	3.2%	159	95%	3.0%	148	93%	2.8%

※保険事業、その他収益(償却債権回収等)を含む

コスト削減(ACSアジア連結)



■ 広告宣伝費: 前年同期比67% ⇔ 取扱高: 前年同期比100%

■ 貸倒関連費: 前年同期比93% ⇔ 営業債権残高: 前年同期比102%

■ 人件費: 前年同期比86% ⇔ 営業収益: 前年同期比96%
人件費収益比 15年上期:14.2% ⇒ 16年上期:12.7%

(単位:百万香港ドル)

ACSアジア 連結	2014年度上期		2015年度上期		2016年度上期		
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	前期差
取扱高	4,097	106%	4,397	107%	4,389	100%	—
営業収益	659	112%	662	100%	638	96%	▲24
営業費用	482	114%	515	107%	467	91%	▲48
広告宣伝費	35	95%	41	116%	27	67%	▲13
貸倒関連費	168	124%	159	95%	148	93%	▲11
人件費	78	120%	94	120%	81	86%	▲13
その他	200	108%	221	110%	212	96%	▲9
営業利益	177	106%	147	83%	171	116%	+24

カード発行枚数およびシェア拡大への取り組み



■ イオンカード即時発行サービスを、既存の「銀聯」ブランドに加え、「VISA・MASTER・JCB」ブランドを追加し、4ブランドに拡大



【2012年度即時発行サービス開始】

【2016年度下期に、同サービスを4ブランドに拡大】

その日から使える

カード申込数の増加

カード稼働率の向上

カード取扱高拡大への取り組み①



- 「日常のご利用で非日常の体験」をコンセプトに、カード会員限定の企画を実施
- カード会員さまのロイヤリティ向上

＜夏のロイヤルカリビアン・クルーズ企画＞

＜秋の香港オーシャンパーク・ハロウィン企画＞

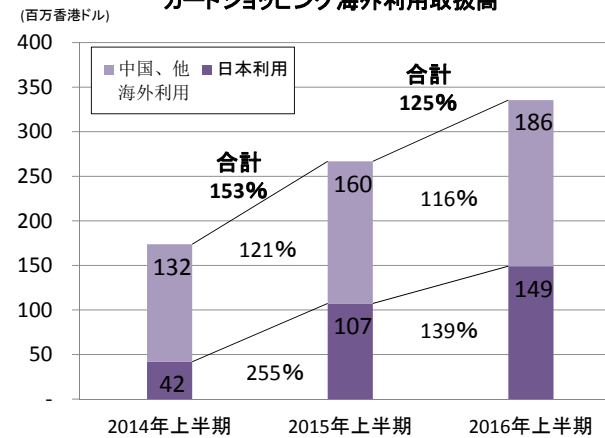


■カード取扱高拡大への取り組み②



- 2016年1～6月の訪日香港人は前年同期比125%の87万人
⇒日本でのご利用を中心に、海外消費を取り込む

カードショッピング海外利用取扱高



夏日炎炎 外遊之选



AEON Card 海外旅行 航空券・ホテル・レンタカー 最大5%優待



AEON Card JAL 客員専享全年優待

■新コンセプトブランチ



- イオンストアーズ香港店内のブランチを、新コンセプトでリニューアル
⇒コーンヒル支店(6月)、ワンボワ支店(9月)

従来の店舗スタイル



【イオンストアーズ香港コーンヒル支店】

新コンセプト

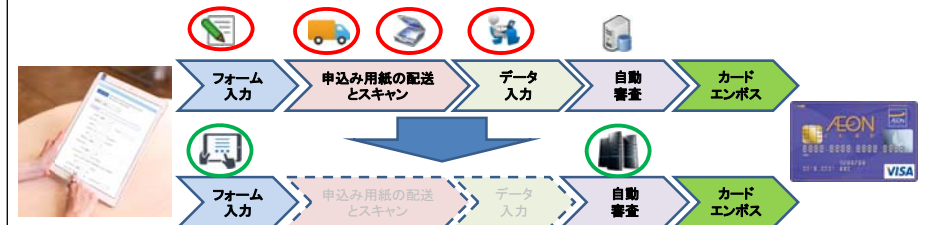


【イオンストアーズ香港ワンボワ支店】

今後の取り組み



- ペーパーレスオペレーション
紙の申込書をなくし、店頭でもWEBでも即時カードを発行。申込書紛失リスク・郵送料削減



- モバイルペイメント
ペイメントアプリとバーチャルカード(スマホへのカード発行)



(参考) 2016年度上期業績 (香港、タイ、マレーシア)



		FY2015 1H		FY2016 1H	
		Result	YOY	Result	YOY
AEON CREDIT SERVICE (ASIA) (HK\$' 000)	Revenue	628,960	99%	606,598	96%
	Operating income	587,366	100%	563,935	96%
	Profit before tax	146,887	87%	185,576	126%
	Profit for the period attributable to : Owners of the Company	119,748	88%	152,142	127%
AEON THANA SINSAP (THAILAND) (BAHT' 000)	Total Revenues	8,565,263	99%	8,776,334	102%
	Income before income tax expense	1,569,730	99%	1,376,390	87%
	Net profit for the period	1,256,167	99%	1,097,266	87%
AEON CREDIT SERVICE (M) Berhad (RM\$' 000)	Revenue	461,162	-	530,766	115%
	Profit from operations	218,032	-	253,877	164%
	Profit before taxation	140,538	-	157,291	111%
	Profit for the period	106,727	-	117,921	110%

※各社発表資料より抜粋。香港とタイは連結の数値を表示。

(参考) 2016年度上期業績 (香港、タイ、マレーシア)



■ イオンクレジットサービス(アジア)連結業績

	2015年度上期		2016年度上期	
	実績	前期比	実績	前期比
経常収益	103億円	89%	91億円	89%
経常利益	22億円	117%	26億円	117%
当期純利益	18億円	118%	22億円	118%

為替レート: 1香港ドル
・2015年上期: 15.66円
・2016年上期: 13.98円

決算期
・2015年: 3/1~8/31
・2016年: 3/1~8/31

■ イオンタナシンサップ(タイランド)連結業績

	2015年度上期		2016年度上期	
	実績	前期比	実績	前期比
経常収益	310億円	87%	270億円	87%
経常利益	56億円	74%	42億円	74%
当期純利益	45億円	74%	33億円	74%

為替レート: 1バーツ
・2015年上期: 3.63円
・2016年上期: 3.08円

決算期
・2015年: 2/21~8/20
・2016年: 3/1~8/31

■ イオンクレジットサービス(マレーシア)業績

	2015年度上期		2016年度上期	
	実績	前期比	実績	前期比
経常収益	163億円	96%	156億円	96%
経常利益	43億円	94%	40億円	94%
当期純利益	32億円	93%	29億円	93%

為替レート: 1リンギット
・2015年上期: 32.43円
・2016年上期: 26.89円

決算期
・2015年: 3/1~8/31
・2016年: 3/1~8/31

※2015年度実績は遡及修正しております。

(参考) セグメント別貸倒及び国内利息返還損失引当金の推移



■ 貸倒引当金残高(セグメント別)

	クレジット	銀行	海外	フィー	連結
期首貸倒引当金残高	275億円	32億円	150億円	42億円	494億円
貸倒引当金繰入額	80億円	▲0億円	146億円	7億円	234億円
貸倒償却額 (移管債権等含む)	69億円	1億円	150億円	5億円	227億円
期末貸倒引当金残高	286億円	30億円	146億円	44億円	501億円

(国内子会社) イオン銀行: 30億円、イオンプラザ外ファイナンス: 41億円、イオン住宅ローンサービス: 12億円

■ 利息返還損失引当金残高

	2015年度上期	2016年度上期
期首利息返還引当金残高	48億円	42億円
利息返還損失引当金繰入額	0億円	0億円
利息返還額(キャッシュアウト・元本充当)	19億円	20億円
期末利息返還引当金残高	29億円	21億円

(参考) 2016年度業容計画 (国内)



	2016年度上期		2016年度通期	
	実績	期首比	計画	期首比
有効会員数	2,644万人	+56万人	2,740万人	+152万人

	実績	前期比	計画	前期比
カードショッピング取扱高	2兆1,670億円	108.8%	4兆4,300億円	107.9%
電子マネー取扱高	1兆908億円	105.9%	2兆2,500億円	105.6%

	実績	期首比	計画	期首比
キャッシング残高	4,223億円	+168億円	4,330億円	+275億円
小口ローン残高	702億円	+84億円	850億円	+232億円
無担保ローン残高	4,925億円	+251億円	5,180億円	+506億円